



一般社団法人

タウンスペース WAKWAK

2017年度 事業報告

すべての人に居場所と出番がある社会、すべての人がSOSを発信でき、互いに支え・支えられる社会、新しい公共としての住民主体による「自立」「参加」「協働」による地域の再生と互いに絆を結び合えるつながりの地域社会をめざして以下のとおり事業を行いました。

## I. 法人運営事業

### 1) 会員拡大

各種事業の場や広報活動を通じ、本法人の目的に賛同しともに活動を進めようとする正会員および賛助会員については、賛助会員が増加しました。引き続き、継続更新を働きかけていきます。

	会員数	口数	前年度会員数	口数
正会員(団体)	1	5	1	5
〃(個人)	12	15	12	15
賛助会員(団体)	3	3	0	0
〃(個人)	91	249	78	239
合計	4団体・103名	272口	1団体・90名	259口

### 2) 理事会、社員総会および企画運営スタッフ会議の開催

#### ①理事会の開催

日時	場所	議案
第1回理事会 5月23日(火)	富田ふれあい 文化センター	第1号議案 2016年度事業報告承認について
		第2号議案 2016年度決算報告について
		第3号議案 監事監査報告
第2回理事会	小会議室2	第1号議案 2017年度上半期事業中間報告について

10月19日 (木)		第 2 号議案 2017年度上半期中間決算報告について 第 3 号議案 財政基盤の改善状況について
第 3 回理事会 3月20日 (火)	富田ふれあい 文化センター 小会議室2	<報告案件> 第 1 号議案 2018年度事業計画案について 第 2 号議案 2018年度予算案について 第3号議案 2018年度役員体制案について 第4号議案 業務執行理事の新設について 第5号議案 定款変更について <議決案件> 第 1 号議案 決算理事会・社員総会の日程について

## ②社員総会の開催

日時	場所	議案
第 1 回 社員総会 5月23日 (火)	富田ふれあい	第 1 号議案 2016年度事業報告承認について 第 2 号議案 2016年度決算報告について 第 3 号議案 監事監査報告
第 2 回 社員総会 3月20日 (火)	文化センター 小会議室2	第 1 号議案 2018年度事業計画案について 第 2 号議案 2018年度予算案について 第3号議案 2018年度役員体制について 第4号議案 業務執行理事の新設について 第5号議案 定款変更について

### ③企画運営スタッフ会議の開催

2017年度は13名のメンバーでスタッフ会議を計4回開催しました。

- ① 5月23日    ②10月19日    ③12月5日    ④3月20日

### 3) 経営・財務管理

持続的な活動を担保していくための経営計画と適切な財務管理を行うと共に、社会貢献事業を安定的に支えていくため、富田地区の視察の受け入れや講師派遣を積極的に行い、また、チャリティグッズを導入するなど事業収入の増加を図りました。また、事業に対する賛同者を増やしていくため寄付の呼びかけやオンライン寄付サービスの導入など幅広く寄付を集める仕組みの導入を行いました。

結果、これまでの財政状況が大幅に改善しました。

○2012年度決算（法人設立時）	7,973,202円
○2016年度決算（前年度）	7,250,007円
○2017年度決算（今年度）	13,870,719円

### 4) マイナンバー法施行にともなう個人情報管理

2016年1月から実施されたマイナンバー制度に伴い、法人が取り扱う特定個人情報の範囲、安全管理措置について法人基本方針ならびに取扱い規定を定め、特定個人情報の取得・利用・保管等について厳正な事務に努めました。

### 5) 寄付金の状況

・**事業指定寄付** 学習支援事業・子どもたちの夕刻を支える場・児童養護施設等社会的養護の子どもたちのエンパワーメント事業等に計431,041円の事業指定寄付を頂きました。

・インターネット寄付 日本財団が運営するクレジットカード決済のインターネットサービスであるCANPAN サービスを通じ、計 152,000 円（手数料差引前）のご寄付を頂きました。

## 6) WAKWAK事務所へ寄付金箱の設置

事務所への来客や富田地区フィールドワークの受け入れ時や講演の際の呼びかけにより 2017 年度は 44,743 円の寄付金箱へのご寄付をいただきました。

## II. 協働交流・調査研究開発事業

### 1) 情報発信活動

#### ①情報誌「WAKWAK通信」の発行

情報誌「WAKWAK通信」を計 3 回（第15号・16号・17号）発行しました。

	内容	発行部数
15号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ただいま～と言える子どもたちの居場所づくり」がNHK総合TV「地域魅力化ドキュメントふるさとグングン！」で全国放映されました！</li> <li>・「子どもたちの居場所をつくる」新たな取り組みがスタート</li> <li>・2017年度社員総会を開催しました！</li> <li>・2017年度事業計画</li> </ul>	各1300部
16号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「とんだ“ただいま“食堂」がスタート - 地域全体で子どもたちの育ちを支える仕組み -</li> <li>・2つの子ども食堂をスタート</li> <li>・たかつきアート博協賛Challenged Art in Takatsuki &amp; ボーダレスアート展「こころの景色」を開催します！</li> <li>・社会的養護で暮らす子どもたちのエンパワメント事業 - 児童養護施設の子どもたちを対</li> </ul>	

	<p>象にした自然体験活動・ボランティアスタッフ研修-</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師派遣/富田地区フィールドワークの受け入れ</li> <li>・マイノリティ スタディツアー-アメリカ・サウスダコタ州 アメリカ先住民ラコタ族の居留区への旅</li> <li>・WAKWAKの社会的企業としての挑戦</li> </ul>	
17号	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ただいま～と言える子どもたちの居場所をつくる」その後・・・ 富田版「子ども食堂」「子どもたちの夕刻を支える場」実践報告会を開催します！</li> <li>・「地域・家庭・学校・行政・大学・企業と連携しながら“ただいま～”と言える子どもたちの居場所をつくる事業」（2つの子ども食堂と学習支援教室の様子）</li> <li>・事業報告</li> <li>・インターネットによる寄付サービス（CANPANサービスの導入）</li> </ul>	各1300部

## ②インターネットを活用した発信

「タウンスペースWAKWAK」HP（URL：<http://wak2.jimdo.com>）や「タウンスペースWAKWAK」Facebookページの更新にも努め、日々の活動を常に発信するなど広く情報発信に努めました。

## ③メディアへの協力

・昨年度に引き続き、NHK全国放送局等から「ただいま～と言える子どもの居場所づくり」事業等について取材依頼があり、地域サイド（高槻富田地区）の受け入れ法人（窓口）として地域諸団体のコーディネートをはじめ情報発信への協力を行いました。

### ●課題解決ドキュメントふるさとグングン！「ひとりぼっちのない町」高槻富田地区Part 2

NHK 総合 1 チャンネル 4 月 22日（日）午前 10 時 05 分～48 分放送

## 2) ネットワーク構築、他団体との協働

WAKWAKが実施する各事業において、地域社会とのネットワーク構築、市民活動団体相互および市民・事業者・行政との連携、協働促進事業について以下のとおり実施しました。

### ①さにすぼ夏祭り

日時：7月22日(土) 午前10時～午後3時

場所：知的障がい者福祉事業所サニースポット

内容：ボードレスアート教室工作キットを販売

### ②富田富寿栄盆踊り大会

日時：9月2日(土) 午後5時～9時

場所：富田富寿栄公園

実行委員団体として参加。

### ③NPO協働フェスタ

日時：10月21日(土) 午前10時～午後3時

場所：生涯学習センター1F展示ホール

内容：展示とNHK「地域魅力化ドキュメントふるさとグングン」の放映

### ④食でつながるフェスタ

日時 11月18日(土) 13時半～16時半

場所 大阪中央体育館

内容 子ども食堂がめざす地域の居場所に参加

⑤フェスタ・ヒューマンライツ

日時：12月3(日) 午前9時半～午後3時

場所：富田ふれあい文化センター他

内容：わんだーぼっくす受講生作品展示を行いました。

ボーダレスアート展の同時開催(12月3日～4日)。

⑥その他

ア. 富田まち・くらしづくりネットワークおよび富田地域包括支援センター/コミュニテイケア会議、富田富寿栄住宅建替研究会、富寿栄連合自治会諸活動への参加を通して、地域福祉やまちづくり運動への参加と連携を図りました。

イ. 市民公益活動サポートセンターの諸活動への参加を通して、市内NPO団体等との連携を図りました。

4) 調査・研究、各種助成金事業

先行している先進事例に学ぶとともに各種研究会等に参加しました。

① 「ただいま～と言える子どもの居場所づくり」のための先進地視察

ア. 日時：2月12日（月・祝日）午後1時～午後19時

視察先：滋賀県大津市三井寺・寿司っこクラブ

内容：寺子屋プロジェクト（寺における学習支援等の取り組み）

寿司屋を利用した子ども食堂の見学

イ. 日時：3月21日（祝日）午後1時～午後19時

視察先：大津ソーシャルワークセンター

内容：大津ソーシャルワークセンターにおける子どもの居場所の取り組み

自立援助ホームにおける子どもたちの居場所づくりの見学

### Ⅲ.新たな福祉と人権・協働のまちづくり事業

#### 1) 地域福祉グランドデザインづくり事業

##### ①富田富寿栄住宅建て替えに向けた取り組み

市の全面建て替え方針を受けて、富田まち・くらしづくりネットワーク等と連携しながら地域まちづくりに引き続き取り組みを行うとともに「建替研究会」に委員として参画しました。市としては「建替基本構想」から一歩進んだ「建替基本構想」の2018年12月策定方針が示されました。

##### ア.「建替研究会」

構成：富田自治会連合・昭和台自治会連合・富田まちくらしづくりネット・老人会・入居者委員会代表等

12名

日時：5月12日（金）・8月4日（金）・10月2日（月）の計3回開催。

##### イ.「入居者委員会」

構成：富寿栄住宅入居者 16名で構成

日時：9月28日（木）・11月11日（土）・3月19日（月） 計3回開催。

## 2) 生きがいと居場所づくり事業

### ①ボーダレスアート事業

ア. ボーダレスアート教室「わんだーぼっくす」の開催

日時および受講者数：前期開講：5月～10月（8月は休み）の月2回 21名受講

後期開講：11月～3月の月2回 20名受講

場所：青少年交流センター2Fレッスンルーム

後援：高槻市・市教育委員会、高槻市社会福祉協議会、社福つながり・つながり後援会

※国際障害者交流センターが実施する「ビッグ アイ・アートプロジェクト2017」公募展にわんだーぼっくす受講生3名4作品を出展、うち1名1作品が入選しました。

### イ. チャレンジドアート展（たかつきアート博）

日時：11月9日(木)～12日(日) 12時～18時

場所：ギャラリーからころ(高槻市役所向かい城北ビル 2F)

内容：わんだーぼっくす受講生4名8作品を出展

### ロ. ボーダレスアート展「わんだーぼっくす」の開催

日時：12月3日（日）～4日（月） 午前10時～午後5時(最終日4時まで)

場所：富田ふれあい文化センター

入場者数：226名

内容：わんだーぼっくす受講生作品展示

### 3) ひとりぐらし高齢者・障がい者・若者支援事業

#### ①地域支え合い事業

ひとりぐらし高齢者および高齢者世帯への食事や買い物、家事支援、安否確認、心のケア等様々な地域における社会的支援の仕組みづくりを構築することを目的に実行委員会立ち上げと「高齢者のお困りごと」訪問調査を実施いたしました。ボランティアサービス提供者の確保等の課題があり、事業スタートには至っていません。今後事業実施に向け協議を進めます。

#### ②障がい者グループホーム整備事業

##### ア. グループホーム「コラム富田」開設

いわゆる重度障がい者夜間支援型グループホーム整備については、富田地域内で建設用地を取得し、男性7名入居のグループホーム「コラム富田」が社福つながりにより2017年4月に竣工し、昨年5月より入居開始となりました。

### 4) 青少年・子育て支援事業

#### ①こどもの歩みバックアップ「生活困窮家庭の子どもたちへの学習支援事業」

生活保護受給および生活困窮世帯や家庭困難層等様々な課題を持つ中学生を対象に、学習支援を行うことで低学力の克服と地域における「貧困の連鎖」を防止する事を目的に2014年8月より学習支援事業をスタートさせました。

##### ア. 学習支援教室わんぴーすの通年開催

生活困窮以外に発達障がい等で課題を持つ生徒のニーズも高く、教員OB・OG、大学生の講師体制の増員を図る等により事業の円滑な実施に努めました。結果、中学3年生は全員希望の進路に進むことができました。

期間：4月～3月の毎週2回 月・水の午後7時～9時

場所：富田ふれあい文化センター2F 学習室1・交流室1・2

対象：中学生(定員15名に対し18名が参加)

参加費：12,000円/月 ※これまでの受講生・要支援家庭6,000円/月(教材費・保険代含む)

講師体制：教職員経験者7名および地域大学生10名(毎回6～7名体制)

後援：高槻市・高槻市教育委員会・社会福祉法人高槻市社会福祉協議会

助成金：公益財団法人大阪コミュニティ財団助成金

#### イ. 青少年相談事業並びに中学校等との連携

- ・ 青少年相談事業を通じた親支援も並行して実施
- ・ 生徒1人1人の特性や課題等について当該中学校との連携会議を概ね2～3か月に1回のペースで開催

#### ウ. わんぴーす夏休み中3合宿

- ・ 時期：8月22日(火)～24日(木) ※23日はわんぴーす同時開催
- ・ 場所：樫田地区にあるM先生宅
- ・ 内容：受験勉強  
これまでの自分自身とこれからの在りたい姿を振り返り語る場  
農作業体験
- ・ 対象：中学3年生 3名参加

## ②「ただいま～と言える子どもたちの居場所をつくる」

**富田版「子ども食堂」「子どもたちの夕刻を支える場」事業をスタートさせました。**

これまでの学習支援事業の延長として、富田版の二つの子ども食堂事業を立ち上げ、運営を行いました。

この一連の取り組みへNHK全国放送局から取材をいただき、大学の広報等でもご紹介いただきました。

## ア. 子どもたちの夕刻を支える場「ただいま食堂」

趣旨：ケア付き食堂をコンセプトに「一緒に食卓を囲むことを通じてつくられた信頼関係をもとに、家族のこと学校のこと、進路のことといった子どもの生活課題への対応を目指す」ことを趣旨に実施。

期間：4月～3月の毎週1回 水の午後5時半～7時

場所：富田ふれあい文化センター3F和室および料理教室

対象：わんぴーすを受講する中学生及びその兄弟、姉妹 11名

参加費：子ども 300円・大人 500円

体制：7名地域住民および大学生で運営 ※その他 わんぴーすの講師や学校の教員も参加

後援：社会福祉法人高槻市社会福祉協議会

助成金：公益財団法人熊西地域振興財団助成金

## イ. 富田版子ども食堂「富田わくわく食堂」

趣旨：共生食堂をコンセプトに「地域に住む多世代、子どもから高齢者まで多くの人たちがごちゃまぜに交わる交流拠点」を趣旨に開催。

日時：2月24日（土）11時～15時

場所：富田ふれあい文化センター地下大小ホールおよび社会福祉法人つながり

内容：①舞台コーナー

○オープニング

司会：第四中学校7年生有志

・四中吹奏楽

・手話うた

トライアングル/歌 子どもたち

・富田ものがたり

富田小4年生有志「紙芝居」

・お口の健康のお話 読み聞かせ 朝日悦子&歯磨き指導 歯科衛生士山下英理子さん

②各コーナー

○親子遊び よちよちコーナー 元富田保育所の先生方

○あそび 笑顔とつながりコーナー 第四中学校7年生有志

○動画 「まちの温度計をあげよう - Yon - Tube でまちの魅力発信 - 」 赤大路小学校4年生作品

③昼食 カレーライス200食 ボランティアグループひまわり

※おとな300円 こども100円

参加者：のべ1,054名 ボランティア：総勢100名

ウ. 「ただいま～と言える子どもの居場所をつくる」その後

- 富田版子ども食堂及び子どもたちの夕刻を支える場実践報告会 -

日時：2018年3月10日（土）午後1時30分～16時

場所：高槻市立富田ふれあい文化センター大ホール

内容：第1部 13時30分～

・導入「地域魅力化ドキュメントふるさとグングン」（子ども食堂に動き出す編 12分）

・開会セレモニー

第2部 14時～16時

「ただいま～と言える子どもたちの居場所づくり事業」実践報告

「事業に携わる人たちの声いろいろ」

「富田地区に携わり見えたこと」（幸重社会福祉士事務所 幸重忠孝さん）

「今後の課題とこれからの展開」

参加者：156名

### ③社会的養護で暮らす子どもたちのエンパワメント事業

#### ア. 児童養護施設の子どもたちを対象としたプログラムの実施

虐待や一人親、障がいなどの社会的、経済的事由により児童養護施設に通う児童（社会的養護で暮らす子どもたち）を対象に自然体験活動を行う中で、生きる力や対人関係形成力、自己肯定感を継続的に育む事業を実施しました。

日時：2月12日（月・祝）11時～16時

3月4日（日）11時～16時

内容：①子どもたちとの顔合わせとアイスブレーキング

②子どもたち対象の自然体験活動

対象：高槻市内の児童養護施設の子どもたち（小学生・中学生）のべ27名

場所：摂津峡青少年キャンプ場

#### イ. 児童養護施設プログラムのためのボランティア・スタッフ研修の実施

将来、学校の教職員や児童養護施設など教育関係や福祉、対人援助職を目指す学生を対象に、研修や実践を通して虐待や発達障がいに対するより深い理解と様々な背景を持つ子どもたちと関わる実践力を育むことを目的に開催しました。

テーマ：子どもたちの行動の背景にあるものに寄り添うために

対象：将来、教職員や福祉職などの教育関係、対人援助職を目指す学生 23名

場所：富田ふれあい文化センター及び摂津峡青少年キャンプ場

i. スタッフ研修

1. 日時：11月26日(日) 午前10時～午後5時

内容：・児童養護施設の子どもたちの背景にあるもの <社会的養護と虐待への理解>

・チームビルディング <人間関係トレーニング>

2. 日時：12月17日(日) 午前10時～午後5時

内容：・対人援助をする援助者が子ども達に与える影響 <知識・スキル・人間性>

・子どもたちの気持ちを受け止める <カウンセリングマインド研修>

3. 日時：1月21日(日) 午後1時～午後5時

内容：・プログラム当日に向けて打ち合わせ

・当日に向けた準備

4. 日時：2月8日(木) 午後6時30分～午後8時30分

内容：・児童養護施設の職員さんからのオリエンテーション <施設の様子と子どもたちの特性>

・プログラム当日に向けて打ち合わせ

5. 日時：2月11日(日) 午前10時～午後5時

内容：・ロープワークなどのアウトドアスキルの研修

・当日の子どもたちのプログラムのためのアスレチックなどの設営等準備

6. 日時：3月20日(火) 午前9時～12時

内容：・児童養護施設見学・施設概要についてのレクチャー

## 5) CSW (コミュニティソーシャルワーク) 事業

### ①コミュニティソーシャルワーク事業

中学校区でのフォーマル（公的機関）・インフォーマル（民間その他）の連携による支援ネットワークという長年培ってきたまちの財産を活かし、また発展しながら子どもから高齢者の困りごと相談への対応や解決、関係機関へのコーディネートを行いました。

ア. 相談件数 ※アウトリーチ含む

		今年度	前年	割合
相談内容	福祉関連	36 件	25 件	33.6%
	住環境・コミュニティ	12 件	13 件	11.2%
	人権	4 件	14 件	3.7%
	教育関連	20 件	24 件	18.7%
	就労関連	5 件	10 件	4.7%
	そのほか	30 件	9 件	28.0%
合計		107 件	95 件	100.0%
処理方法	ワクワク職員が対応	57 件	70 件	53.3%
	ふれあい文化センターにつなぐ	4 件	5 件	3.7%
	行政関連の所管へつなぐ	21 件	16 件	19.6%
	そのほか	25 件	4 件	23.4%
合計		107 件	95 件	100.0%

#### イ. 青少年の支援のための学校教育との連携

学習支援わんぴーす受講生やただいま食堂等の日々のケース対応に当たっては、当該の小、中学校と密に連携を図り、支援を行った。また、深刻なケースに当たっては、市のSSWやカンガルーの森などの関係機関等とも当法人の社会福祉士が連携しケースカンファレンスを行った。

#### ウ. 高齢者等住民支援のための関係機関との連携

高齢者の支援に当たっては富田ふれあい文化センターの介護相談員や地域の民生委員と連携し課題解決を行った。また、よりネットワークを広げるため富田ふれあい文化センターが開催したケアケース会議への参画や富田地域包括支援センターが開催する地域ケア会議へ出席した。

### 6) 人材育成事業

富田まちくらしづくりネットワークや地元自治会等への活動参加を行い地元住民のボランティア発掘を行うとともに、多種多様な講座の開催をはじめ地域内外からの若年層のマンパワーの発掘のため平安女学院大学や大阪人間科学大学等との連携を行う中で当法人のさまざまな事業のボランティア参画へとつなぐ。

#### ①連続講座「富田ものがたり」の開催

富田地域内施設において業務として従事する方（行政職員、学校、幼稚園、保育所等教職員、民間施設職員等）やボランティア活動を行う方々を対象に、富田地域の特性や施設、団体の設立の背景や歴史に対する知識を深める連続講座を開催しました。

日時・内容：

<春>

ア. 「富田地域概要～風をつかみ果敢にチャレンジする文化～」<5月25日（木）18時半～20時半>

- ・人と人が出会い、繋がる アイスブレイキング（チェックイン&デートゲーム）
- ・オーソドックスな富田地域概要 （一社）タウンスペース WAKWAK 事務局長 岡本 工介

イ. 保育領域～子育て支援センターはこ～んな願いで生まれた。～<6月2日（金）18時半～20時半>

- ・講師 常磐会短期大学 教員 田村みどりさん

ウ. 学校教育領域～学プロからゆめみらい学園へ～<6月9日（金）18時半～20時半>

- ・講師 赤大路小学校 教員 久保 公子さん

<秋>Deep 富田ものがたり テーマ：私の生きてきた道

エ. <9月15日（金） 18時半～20時半>

- ・「ダウン症の息子善ちゃんと共に」

講師：中川春枝さん・善太さん

場所：高槻市立富田ふれあい文化センター小ホール

対象：富田地域の学校、施設、その他に従事する人、興味のある方

参加者：のべ191名

参加費：各回500円／人<資料代>・学生 無料

#### IV. その他事業

法人の社会貢献事業を支えるための持続的かつ安定した財政基盤を強化することを目的として以下の事業を行いました。

##### 1) 富田地区視察の受け入れおよび講師派遣事業

市内外や他府県の行政機関や福祉施設等へ職員が講師として積極的に出向き、包摂型のまちづくりの実践談や人権啓発の推進を図りました。また、これまで行ってきた富田地区視察の受け入れを積極的に行い、受け入れメニューの充実も図りました。ここで得た報償費（収益）を法人の安定的な基盤づくりに寄与するとともに法人の社会貢献事業へ循環しました。

##### ①スーパーバイズ等派遣

業務内容	契約期間	依頼者
箕面市萱野人権文化センター（らいとぴあ21）地域教育課のスーパーバイズ及び次世代のリーダー育成	2年間	暮らしづくりネットワーク北芝
部落解放・人権大学第112期助言者派遣	10～3月	部落解放人権研究所

##### ②講師派遣

	事業名	日時	主催者
1	日本福祉大学スタートアップセッション	5月21日(日)	日本福祉大学
2	高槻市民生児童委員人権研修	5月24日(水)	高槻市社会福祉協議会
3	東大阪市荒本市民人権講座	6月7日(水)	東大阪市
4	京都府福知山市企業人権講座	6月13日(火)	福知山市教育委員会
5	高知県室戸市記念講演会	7月11日(火)	高知県室戸市

6	関西大学人権問題研究室 研究会	7月14日(金)	関西大学人権問題研究室
7	高知県小高坂市民会館人権講演会	7月19日(水)	高知市教育委員会
8	豊中市教職員人権研修	7月26日(水)	豊中市教育委員会
9	高知県中土佐町人権夏期講座	8月25日(金)	高知県中土佐町
10	彦根市人権まちづくりフェスタ	9月30日(土)	彦根市
11	滋賀県人権教育研究協議会野洲大会	10月29日(日)	滋賀県人権教育研究協議会
12	福知山市丘児童センター研修	11月16日(木)	福知山市丘児童センター
13	大阪広告業界向け人権研修	11月16日(木)	大阪アドバタイジングエージェンシーズ協会
14	吹田市教育センター教員研修	11月17日(金)	吹田市教育センター
15	滋賀県草津市笠縫東小学校	11月22日(水)	滋賀県草津市笠縫東小
16	高槻市水道部人権研修①	11月24日(金)	高槻市水道部
17	高槻市水道部人権研修②	11月28日(火)	高槻市水道部
18	羽曳野市行政職員研修	12月22日(金)	羽曳野市人事課
19	檜田小学校 PTA 学習会	1月30日(火)	檜田小学校 PTA
20	藤井寺市行政職員研修	2月13日(火)	藤井寺市
21	常磐会短期大学大学生リーダー研修	2月14日(水)	常磐会短期大学
22	三重県四日市市人権研修	2月17日(土)	四日市市
23	摂津市人権教育研修	2月20日(火)	摂津市教育委員会
24	大阪府教育センター研修	2月27日(火)	大阪府教育委員会
25	浄土真宗大阪教区社会福祉セミナー	3月6日(火)	浄土真宗大阪教区
26	市民と行政との協働 まちづくり塾	3月22日(木)	高槻市コミュニティ推進室

○第四中学校区の地域学習等への派遣

27	高槻市立富田小学校 4 年生 ※4 年生の有志が富田わくわく食堂に参画	10 月 25 日(水) ほか	高槻市立富田小学校
28	高槻市立第四中学校 9 年生	12 月 7 日 (木)	高槻市立第四中学校
29	高槻市立第四中学校 7 年生 レインボープロジェクト ①子どもの居場所づくり事業について ②ゲストティーチャーからのアドバイス ③子ども未来フォーラム ※7 年生の有志が富田わくわく食堂および 実践報告会に参画	12 月 21 日(木) 2 月 2 日 (金) 3 月 15 日 (木) ほか	高槻市立第四中学校 ※その他当法人は地域、行政施設、大学、 企業等諸団体約 30 団体のコーディネート を行った。

③富田地区の視察の受け入れ

	日時	場所	対象	参加者数
1	6 月 3 日 (土)	富田ふれあい文化 センターおよび富 田地域周辺各所	チャレンジ会 (矢田・浅香・住吉等の若 者のネットワーク)	28 名
2	8 月 16 日 (水)		暮らしづくりネットワーク北芝 らいとぴあ 21 地域教育課	16 名
3	8 月 30 日 (水)		学校法人 大阪産業大学	20 名
4	9 月 14 日 (木)		学校法人 関西大学人権問題研究室	10 名
5	10 月 12 日 (木)		摂津市人権協会	27 名
6	10 月 30 日 (月)		大阪府人権擁護委員連合会	36 名

7	11月2日(木)	富田ふれあい文化	大東市・人権啓発ネットワーク大東	15名
8	2月3日(土)	センターおよび富	部落解放大阪青年共闘会議	30名
9	2月16日(金)	田地域周辺各所	部落解放人権大学112期生	47名
10	3月2日(金)		大東地区人権擁護委員会	12名

## 2) 事務受託事業

部落解放同盟高槻富田支部、富田富寿栄老人会、富田地区企業者組合、人権ネットワーク、社福つながり後援会・家族会ひだまりと事務受託契約を行い、計5団体の事務受託について適正に事業を執行致しました。

## 3) マイノリティと出会う旅 スタディツアーの準備

### ①アメリカ・サウスダコタ州アメリカ先住民居留区スタディツアーの準備

2018年度以降に開催予定のアメリカ先住民居留区へのスタディツアーの開催に向け、法人事業に携わるスタッフとともにツアー準備会を開催しました。

#### ア. 春季開催

時期：5月1日(月)～5月11日(木)

行先：アメリカ・サウスダコタ州シャイアンリバー先住民居留区およびクロークリーク先住民居留区

内容：3つのテーマ

- ①ラコタ族が生きる壮大な大自然を経験し、その中で守ってきた独自の自然観や生き方にふれる。
- ②様々な困難な状況を経ながらもマイノリティとしてたくましく生きる人たちと出会う。
- ③長年ラコタ族が守ってきた伝統的な儀式にふれる。

人数：5名

## イ. 夏季開催

時期：7月27日（水）～8月10日（木）

行先：アメリカ・サウスダコタ州シャイアンリバー先住民居留区およびパインリッジ先住民居留区

内容：ラコタ族が守ってきた伝統的儀式的サポート

人数：6名

その他：その他のツアー先についても検討するとともに旅行業取扱管理者の取得についても検討しました。